

# 4月12日 福島県中通りの地震

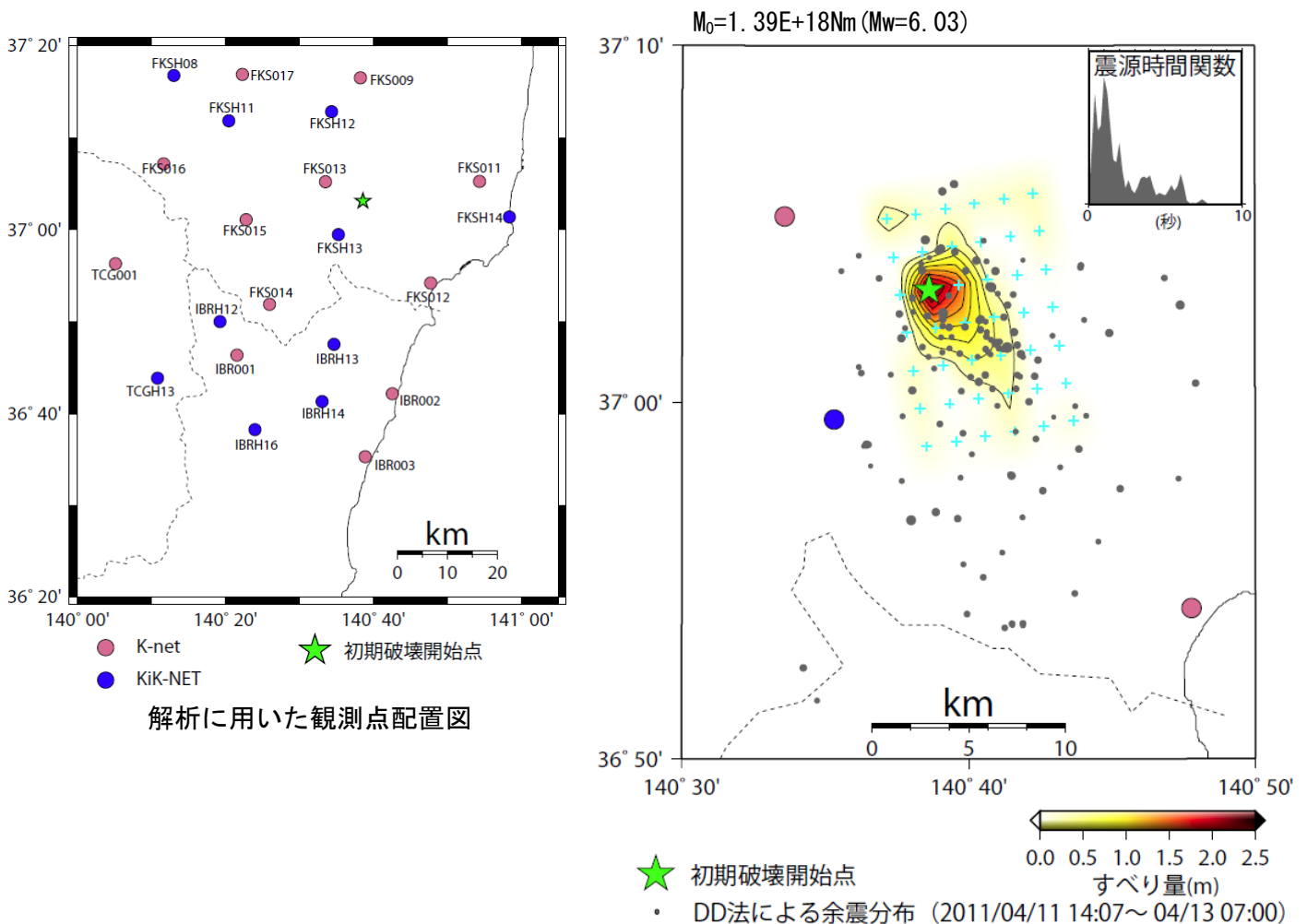
## — 近地強震波形による震源過程解析（暫定） —

2011年4月12日14時07分に福島県中通りで発生した $M_{JMA}6.3$ の地震について、国立研究開発法人防災科学技術研究所が展開する強震観測網（以下、K-NET）、基盤強震観測網（以下、KiK-net）の観測点の強震波形を用いて震源過程解析を行った。

破壊開始点はDD法で再計算した震源の位置（N37.0525°，E140.6438°，深さ15.51km）とした。断層面のパラメータは、DD法による震源分布を参考に、走向170°，傾斜40°とし、すべり角はP波初動解の58°とし、すべり角58°の片側45°の幅に収める拘束条件を与えた。

主な結果は以下のとおり。

- ・ 主なすべりは初期破壊開始点付近の浅い部分と南東側にあり、主な破壊継続時間は約5秒間であった。
- ・ 最大のすべり量は約2.5mであり、モーメントマグニチュードは6.0であった。



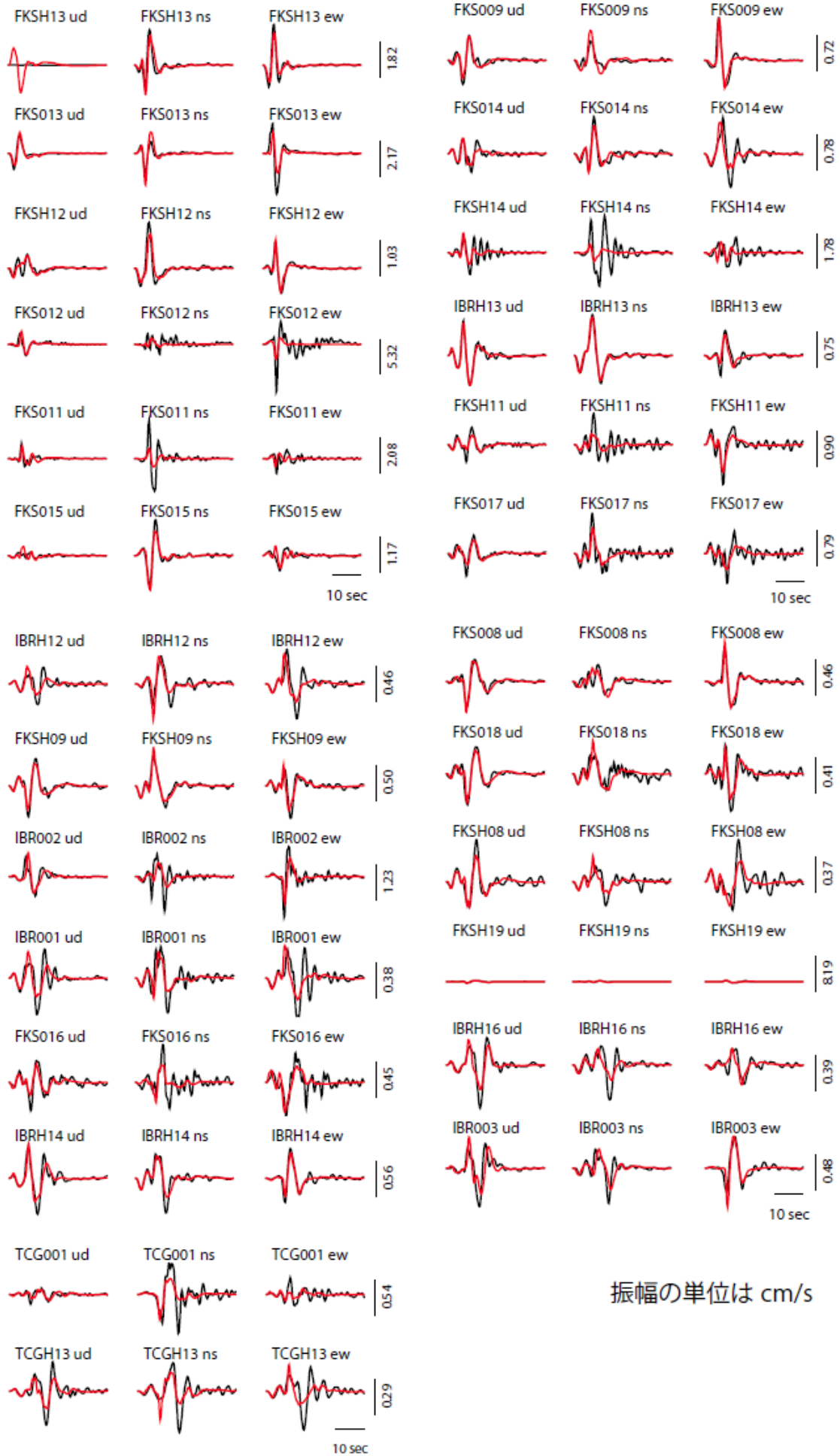
解析には国立研究開発法人防災科学技術研究所の K-NET・KiK-net の波形データを使用した。記して感謝します。

※ この解析結果は暫定であり、今後更新する可能性がある。

更新日：2016/01/15

気象庁・気象研究所作成

観測波形（黒：0.05-0.2Hz）と理論波形（赤）の比較



振幅の単位は cm/s